

編集室

市郡地区医師会との合同理事会での話題

広島県医師会常任理事会は1、2月に1回位の割合で市郡地区医師会に行き、合同理事会を行い地区医師会の理事の先生方のご意見、要望など直接聞き、また懇親を深めている。

私は広報を担当しているので、地区の広報担当の先生と席を同じにすることが多いが、地区によっては、2～3の医師会が一緒になったこともあるので、いままで多くの先生とお話をする機会があった。その地区の名物、お酒、趣味の話にもなる。最近訪問した福山方面、廿日市方面での合同理事会での会話のテーマは保存食作り。

私は保存食作りが趣味で、年中、とくに春から初夏にかけて、忙しい。

まず、普通のイチゴ(ストロベリー)から始めて、庭で収穫するブラックベリー、夏みかん、杏、ブルーベリー(大島からの宅配)をジャムにする。その間、ラッキョウ漬、ユスラ梅酒(庭で収穫)、枇杷酒、梅酒、梅の醤油付、杏酒、棗酒などの果実酒も作る。

そんな話をしていると、隣に座っていたW先生が「妻のために杏の木を植えて、その実がなったので杏酒にした」と、...。なんて、素敵なお話、と感激。できることなら、すべて自分のところでできた果実で作るのが理想であるし、こういう愛情たっぷりの杏酒は万能薬になるような気がする。ちなみに、私の杏は福山のT先生の自宅になった杏を奥様が送ってくださる。きれいなオレンジ色の完熟杏である。はやく処理しないと傷んでしまう。忙しくしている時は、夜帰ってから、それでも疲れているときは朝早く起きて作業。ジャムのためのグラニュー糖と果実酒のための氷砂糖とビンは欠かさず買っておく。

そうそう、去年の秋は、そのT先生から完熟棗(ナツメ)を大量にいただいたので果実酒にした。これは初めて作った。6ヵ月くらいして飲んでみると、さすが、棗は漢方薬、薬酒である...。体によさそうな味、レモンを搾ると一層

味がよくなった。そして、今年は台湾で食べた5cmくらいの実のジャンボ棗の木を植えた。日当たりが悪い狭い庭なので実が着くかどうか、3年後には結果ができる予定である。その棗酒の味はどんなものか、いまから楽しみである。

廿日市方面との合同理事会では女性のH先生に手作りパンをいただいた。そのお礼にルバーブジャムを送った。ルバーブは大黄(ダイオウ)の仲間のハーブで、昔から手に入れたかった。ある日、あるブログでルバーブの記事があったので早速ネットで検索し、信州から宅配していただいた。3cmくらいに切って、ジャムにした。酸味は強くて独特の香りがするが、パンのお供にはいける。便秘の友達に食べてもらったが、...、効果のほどは、...

H先生からお礼のはがきがあり、やはり、パンだけでなくジャムも作っていると書いてある。「冬はイヨカン、柚。春はイチゴ、甘夏、夏みかん。先日もブラックベリーで作りました。仕事や掃除は、これで完了ということがないので、パン作りや、お菓子、ジャムなどは一回完結なので、バランスがとれます。一人で楽しみながら、没頭します、...」本当に、そのとおり。特にジャムは焦がさないようにお鍋の底から、ひたすら混ぜて煮詰める。その間、灰汁もきれいにすくい取る。雑念がわき上がる暇がない。

どんなに忙しくても、疲れていても、ジャム作りはする。材料が古くなると果実に含まれるペクチンが減ると、子どもをはじめとして私のジャムを待っていてくれる方もいる。そして、作っている間の気持ち、なにも考えない時間、無の心境、...、捨てがたい。

と、合同理事会ではいろいろな話題が出る。もちろん「これからの対内、対外への医師会の広報の在り方」これらについて熱心に語り合ったあと趣味の話になるのは、...、言うまでもない。
(温泉川梅代)

広島県医師会速報 2009年(平成21年)8月15日

- 発行所／社団法人 広島県医師会
〒733-8540 広島市西区観音本町一丁目1番1号 TEL.082-232-7211 FAX.082-293-3363
広島県医師会HP <http://www.hiroshima.med.or.jp/> E-mail kouhou@hiroshima.med.or.jp
- 編集者／広島県医師会長 碓井 静 照
- 印刷所／レタープレス株式会社
〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL.082-844-7500 FAX.082-844-7800